

第15号では、外部機関との連携授業の様子をお伝えします。

「高1 大学連携プロジェクト」

11月26日(水)、高校1年生を対象として、岡山理科大学の先生お二人に出張講義を行っていただきました。このプロジェクトは、理科の学習内容が身近な生活でどのように活用されているのか、どのような原理で実用化されているのかを学ぶことを通じて、「科学的思考力」、「論理的思考力」などを伸長することを目的としています。



1つ目の講義では、理学部の横山崇教授に大学での研究内容を紹介していただいた後、酸化還元反応や光触媒を扱った実験を観察しました。色の変化を扱う反応や、クイズを交えた説明、さらに血痕検出で知られるルミノール反応を実際に見ることで、生徒たちは科学的思考力と想像力を大いに刺激された様子でした。

2つ目の講義では、生命科学部の松浦信康教授に研究の意義や志望校を選ぶ際に大切にしてほしい視点についてお話しいただいた後、大学で行われている特許をお持ちの研究について詳しく紹介していただきました。生徒は課題研究に取り組んでいることから、研究の動機・目的・手法などに強い関心を持って耳を傾けていました。講義後の質問タイムでは、多くの生徒が主体的に質問し、積極的に学ぶ姿勢が見られました。

今回の出張講義を通して、生徒たちは大学での研究や科学の面白さに触れ、自ら学ぶ意欲や将来への視野を広げる貴重な機会となりました。次回は12月末に中学2年生を対象に行う予定です。

「環境教育 de カード学習」



11月26日(水)、中学3年生・高校2年生を対象に「環境教育 de カード学習」(主催:倉吉中央ロータリークラブ様)を鳥取県中部森林組合様ご協力のもと開催しました。

中学3年生は、「moritomirai モリトミライ」を用いて、それぞれの役割(職)を理解し、環境のためにできる取り組みを考えながら、仕事や生活のターンを繰り返し、森と私たちの生活が刻々と変化する中でどう行動すべきかについて考えました。

高校2年生は、「2050 カーボンニュートラル」に取り組みました。それぞれの役割(業界)のチームに分かれ、組織活動や他業界との交渉を通じた、地球環境への影響を疑似体験し、自分たちの価値観や考え方を見直していくことができたようです。環境問題を楽しく学んでいくとても良い機会になりました。